



KAWASAKI
SDGs



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

100+2歳のまち



令和8年度予算 教育費の概要



川崎市
教育委員会

令和8年度 川崎市各会計歳出予算額の対前年度比較表

(単位 千円、%)

会計名	令和8年度予算額	構成比	令和7年度予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	937,753,481	54.3	892,749,880	54.6	45,003,601	5.0
特別会計 (13会計)	543,646,642	31.4	506,476,204	31.0	37,170,438	7.3
企業会計 (5会計)	246,677,278	14.3	235,501,963	14.4	11,175,315	4.7
合 計	1,728,077,401	100.0	1,634,728,047	100.0	93,349,354	5.7

川崎市一般会計予算及び教育費予算の対前年度比較表

(単位 千円、%)

	令和8年度予算額	構成比	令和7年度予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	937,753,481	—	892,749,880	—	45,003,601	5.0
教育費	137,170,732	14.6	130,246,844	14.6	6,923,888	5.3

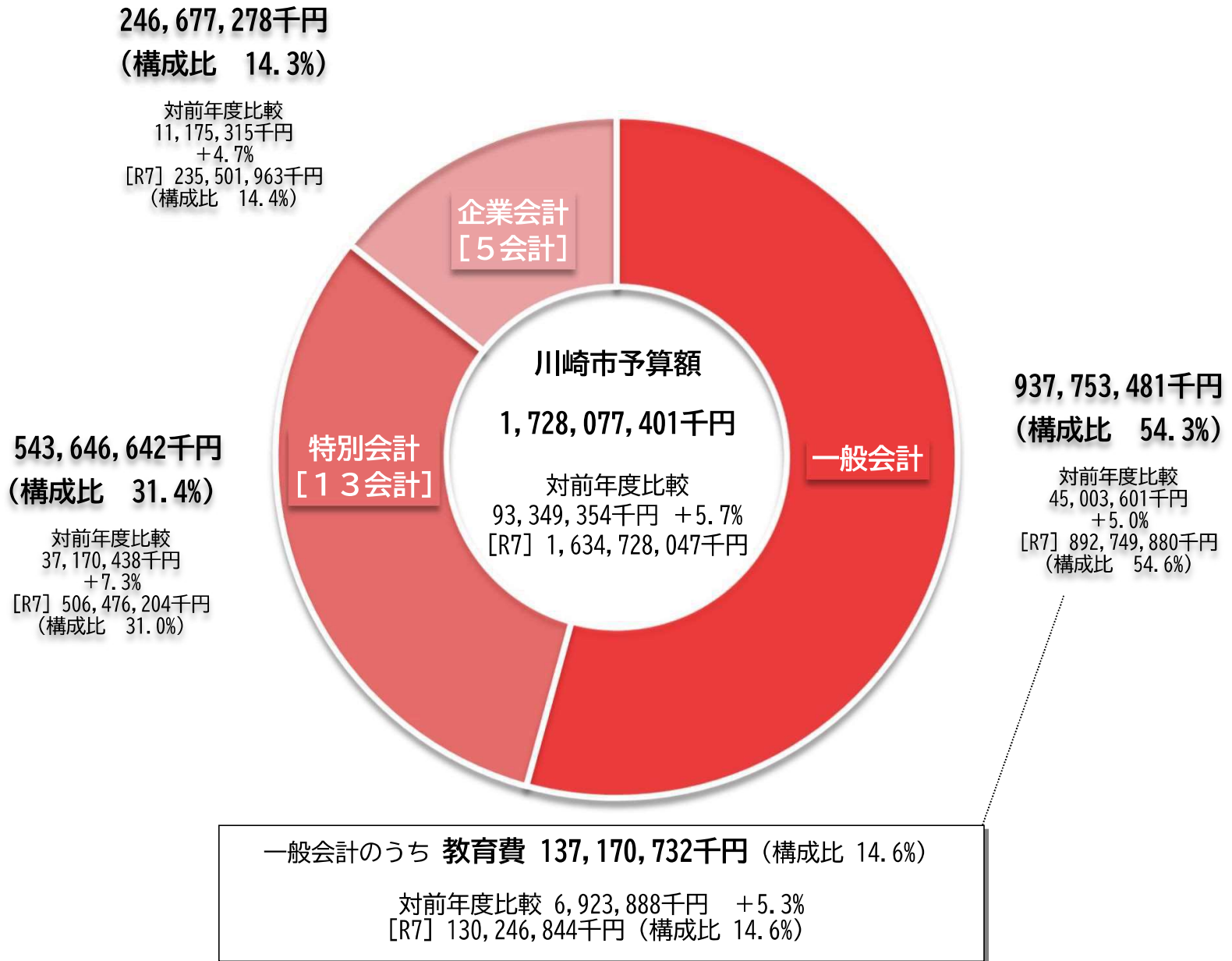
教育費の主な増減

(千円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減理由
職員給与費（事務局費）	19,647,619 →	23,374,571	3,726,952	給与改定による増及び退職予定者の増による退職手当の増 (退職手当+2,584,039)
共済費	12,506,361 →	13,069,519	563,158	給与改定による増
児童生徒指導事業費	93,344 →	210,817	117,473	校内教育支援センター（別室指導）のモデル実施の拡充（8校→28校）等による増
自然教室運営事業費	480,933 →	595,163	114,230	他施設利用校の増（小：19校→52校、中：16校→41校）等による増
児童生徒体育活動振興事業費	46,727 →	162,615	115,888	民間プール等を活用した水泳授業実施の拡充（7校→23校）等による増
職員給与費（小学校費）	23,309,505 →	24,142,482	832,977	給与改定による増
職員給与費（中学校費）	11,247,490 →	11,849,666	602,176	給与改定及び予算定数の増（2,143人→2,237人）による増 ※中学校35人学級化
職員給与費（特別支援学校費）	1,917,436 →	2,235,817	318,381	給与改定及び予算定数の増（387人→392人）による増
文化財調査事業費	46,143 →	447,902	401,759	埋蔵文化財保存・活用施設の整備に係る土地・建物の有償所管替えによる増
中学校給食推進事業費	3,042,434 →	3,189,414	146,980	給食センターPFI事業費の増、給食回数の増（上限165回→180回）等による増
学校給食給付金	0 →	160,147	160,147	給食費負担軽減交付金を財源とした非喫食者への給付による皆増
学校給食物資購入費	6,802,664 →	7,265,964	463,300	物価高騰による給食物資購入委託料の増
児童生徒急増対策事業費	5,390,093 →	4,507,390	▲ 882,703	給食室増築工事の減（3校→0校）等による減
一般営繕費（義務教育）	1,565,730 →	1,782,663	216,933	空調設備整備の進捗等による増
既存教室冷房化事業費	700,668 →	1,472,100	771,432	PFI事業の進捗による工事完了分の公有財産取得による増
体育館等空調整備事業費	50,500 →	164,788	114,288	断熱化済み先行実施分の工事着手等による増
学校施設長期保全計画推進事業費（義務教育）	7,225,055 →	3,469,228	▲ 3,755,827	国の前倒し補正を活用したことによる校舎・体育館再生整備対象校（当初予算に計上する対象校）の減（10校→4校）
一般営繕費（高等学校）	474,488 →	98,305	▲ 376,183	高津高校空調設備改修工事の完了による減
特別支援学校施設整備事業費	961,108 →	1,548,448	587,340	中央支援学校高等部分教室増築工事の進捗による増
施設整備費（社会教育施設）	448,139 →	928,170	480,031	高津市民館大ホール特定天井対策工事の着手等による増
社会教育施設再整備事業費	144,306 →	1,279,343	1,135,037	幸市民館・図書館改修工事の着手による増

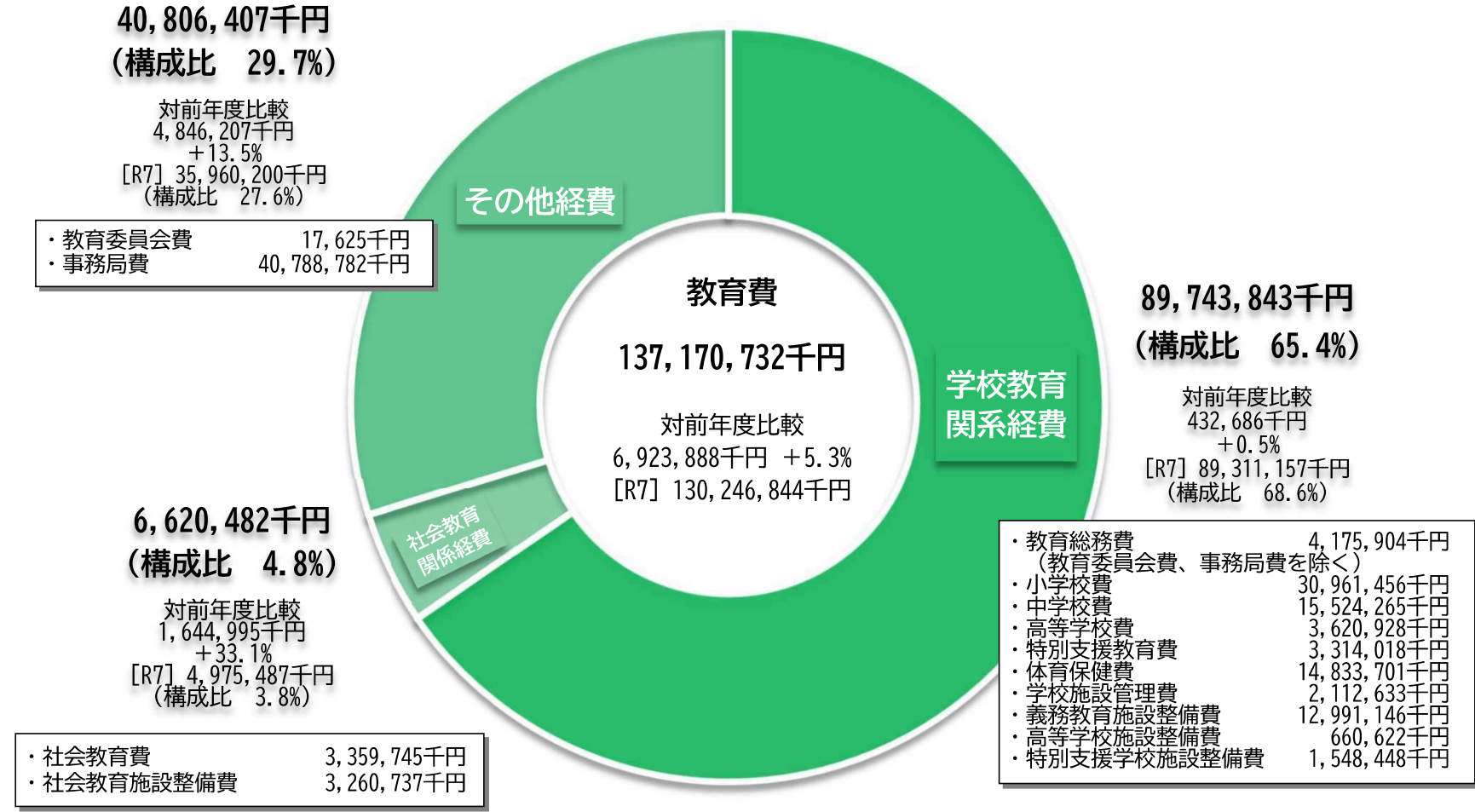
第1表

令和8年度川崎市各会計・教育費予算の概要

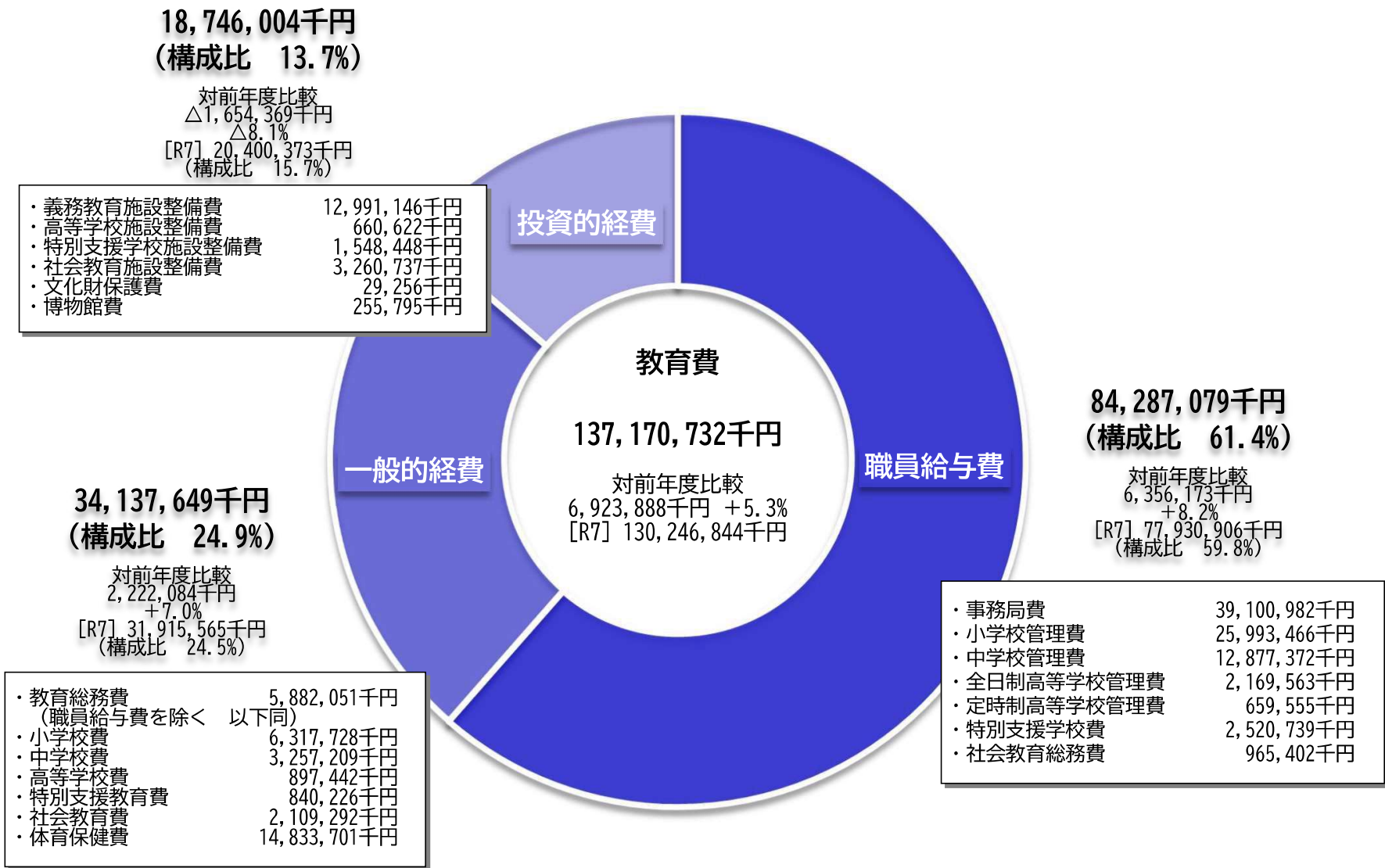


第2表

令和8年度教育費予算の目的別分類



第3表 令和8年度教育費予算の性質別分類



令和8年度予算案 重点施策

市立学校体育館等の空調設備整備

420,701千円

(令和7年度補正予算対応 748,859千円)

整備着手した15棟に加え、①～③の区分に基づいて、第4期実施計画期間中に体育館等空調設備を整備します。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
整備着手 15棟 (断熱化済 7棟(各区1棟)) (再生整備実施の8棟)	設計7棟・工事15棟 (うち8棟完成) 232,767千円 (補正対応分748,859千円)	工事7棟 (7棟完成)		
① 予防保全・再生整備による整備	設計12棟 124,080千円	設計10棟 工事12棟完成	設計11棟 工事10棟完成	工事11棟完成
② 大規模体育館等の整備	設計3棟 32,847千円	設計5棟 工事3棟完成	設計4棟 工事5棟完成	工事4棟完成
③ PFI手法による整備	事業者選定手続き	工事20棟完成	工事45棟完成	工事45棟完成
	業務支援委託			
	31,007千円			
設置棟数 (設置率)	420,701千円 (補正対応分748,859千円) 16棟 ※ / 178棟 (9.0%)	58棟 / 178棟 (32.6%)	118棟 / 178棟 (66.3%)	178棟 / 178棟 (100%)

※令和8年度に完了する聾学校の体育館改修に伴う空調設備の整備を含む。

令和7年度末の空調設置率 **3.9%** (7棟 / 178棟)

(市立学校は176校あるが、高津高等学校及び橘高等学校は体育館が2棟あるため、体育館は178棟)



令和8年度予算案 重点施策

不登校児童生徒支援の充実・強化

146,526千円

拡充

① (仮称) 校内教育支援センターの整備

115,280千円

- ・委託、有償ボランティアによる専任スタッフ配置を、8校→28校に拡充し、小・中学校の中に安心できる居場所を作ります。
- ・子どもたちの意見を取り入れながら、来室しやすい空間づくりを行います。



② ゆうゆう広場のアウトリーチ機能強化

23,983千円

- ・家庭訪問支援や、オンライン学習システムを活用した伴走支援のモデル実施を3つの広場で行い、アウトリーチ機能を強化します。
<R7: 1か所(みゆき) → R8: 3か所(みゆき・たかつ・あさお)で実施>
- ・子どもたちの意見を取り入れながら、来室しやすい空間づくりを行います。



③ 保護者支援の取組の強化

7,263千円

- ・親の会等と連携し、不登校に悩む保護者同士がつながる機会を増やすなど、保護者向けピアサポートを導入します。
- ・不登校の未然防止の観点から、市立学校のすべての家庭にパンフレットを配布するなど、広報・情報発信を強化します。



令和8年度予算案 重点施策

学校の朝の居場所づくりの推進

22,264千円

新規

保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の方の協力をいただきながら、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所」づくりを進めます。

- ◆各学校で開門や昇降口の開錠時間が異なる
- ◆開錠まで屋外スペースで待機する学校が多い

- ◆全小学校を対象に、令和8年度から順次実施
- ◆天候に左右されない受入スペースを検討

- ・共働き世帯の数は専業主婦世帯数の約3倍に増加
- ・始業前の朝の時間を子どもだけで過ごす家庭の増加
- ・こども家庭庁の調査によると、学年に関わらず、約3割の家庭で、朝の時間に子どもだけで過ごすことに不安を感じている。



地域の協力を得ながら、子どもたちが気持ちよい1日のスタートを迎えられるような居場所づくりを推進します！
→ 令和8年度は、各区1校で実施予定



令和8年度予算案 重点施策

持続可能な学校運営体制の構築に向けた教員の人材確保と負担軽減

276,345千円

教員の安定的な確保と働き方改革・働きやすい職場環境づくりを両輪で進めることで、好循環を生み出し、持続可能な学校運営体制の構築を進めます。



① 学校用務員が担う業務範囲の拡充及び民間委託化

75,000千円

新規

- ・「普通教室のワックスがけ」など、学校用務員が担う業務範囲を拡充するため、小学校等は学校用務業務を民間委託するとともに、中学校等は直営体制を強化し、新体制の構築を進めます。
- ・R8年度は15校で民間委託への移行準備を開始し、R9年度から順次展開していきます。

② 学校徴収金事務の効率的な執行

19,862千円

新規

- ・民間事業者のWebサービスを活用することで、学校徴収金事務を効率的に執行します。
- ・R8年度は30校から開始し、順次展開することで、全校実施を目指します。



③ 学校水泳授業外部委託の推進

157,616千円

拡充

- ・小学校の近隣にある民間プール等を活用し、インストラクターと教員が連携して水泳授業を行います（7校→23校）。
- ・学校近隣に活用可能な民間プールがない場合などに、外部の指導者を派遣し、教員の水泳指導をサポートします（学校プール使用継続35校中20校）。



④ スクールロイヤールの配置拡充と不当要求行為等への対応

23,867千円

- ・スクールロイヤールを増員（1名→2名）し、学校の対応力を支える体制を強化します。
- ・学校における不当要求行為等への対応として、通話録音装置を市立学校全校に導入します。
- ・学校では対応が困難な不当要求行為等への専門弁護士相談等を導入します。

拡充

新規

新規

令和8年度予算案 重点施策

学校給食に関する課題への対応

3,772,960千円

① 学校給食実施回数が増

3,754,960千円

拡充

長期休暇（春・夏休み）明けに、希望する学校で給食回数を増やせるよう環境を整えます。

- ・ 小学校 : 上限187回 → 上限192回
- ・ 中学校1・2年生 : 上限165回 → 上限180回
- ・ 中学校3年生 : 上限155回 → 上限170回



② 給食室への空調設備の整備

18,000千円

新規

- ・ 暑い時期における給食室の環境改善を図るため、空調設備が未設置の調理場や食品庫に対して調査を実施し、整備を進めます。

校種	調理場空調		食品庫空調	
	整備済	未整備	整備済	未整備
小学校	45校	70校	26校	89校
中学校	4校	0校	4校	0校
特別支援学校	2校	2校	0校	4校
合計	51校	72校	30校	93校



令和8年度予算案 『総合経済対策への対応』

令和7年11月に閣議決定された「『強い経済』を実現する総合経済対策」を踏まえ、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用するなど、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への速やかな支援を実施します。

令和8年度予算 国の総合経済対策への対応 約8.4億円

事業名	取組	交付金活用額
学校給食物資購入費 学校給食給付事業費	小中学校等における学校給食について、物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減	8.4億円

<国による「学校給食費の抜本的な負担軽減」への対応>

- ・小学校及び特別支援学校小学部の給食費について、国の「給食費負担軽減交付金」や「重点支援地方交付金」を活用し、令和8年度は保護者負担を求めません。
- ・中学校及び特別支援学校（幼稚部・中高等部）については、物価高騰が続いている状況を踏まえ、「重点支援地方交付金」を活用し、令和8年度は保護者負担における給食費単価を据え置きます。
- ・小学校及び特別支援学校小学部における非喫食者（アレルギー等により給食を食べられない児童）について、国の補助に沿った対応を行います。 新規



令和8年度新規拡充事業一覧

新規◎ 拡充○	事業名	事業概要	予算額（千円）		
			R8年度	R7年度	増減
○	不登校対策推進事業費	「（仮称）校内教育支援センター」の28校への整備とゆうゆう広場のアウトリーチ機能強化のモデル実施、多様な主体との連携等による保護者支援事業を行います。	146,526	20,425	126,101
◎	朝の居場所づくり推進事業	保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所」づくりを進めます。	22,264	-	22,264
◎	学校用務業務委託事業費	「普通教室のワックスがけ」など、学校用務員が担う業務範囲を拡充するため、民間事業者への委託化と、直営校における新体制構築を進めます。	75,000	-	75,000
◎	学校徴収金事務事業	民間業者が提供するインターネットサービスを活用し、学校の負担軽減を図るとともに、保護者の利便性向上に向けた取組を推進します。	19,862	-	19,862
○	学校水泳授業外部委託事業費	学校近隣の民間プール等を活用した水泳授業の実施等を通じて、教職員の負担軽減を図りながら、より安全安心な実施体制の構築に取り組みます。	157,616	42,216	115,400
○	法律相談弁護士配置事業費 （会計年度任用職員等報酬等）	学校に関する諸問題について、スクールロイヤーの任用（増員）により学校の対応力を支えるほか、通話録音装置の導入等により過剰な苦情や不当な要求等への対応を行います。	7,440	4,234	3,206
◎	法律相談事業		16,427	12	16,415
○	給食運営維持管理事業費	長期休暇（春・夏休み）明けの給食実施可能日を増やし、希望する学校で給食回数を増やせるよう環境を整えます。	403,538	380,394	23,144
○	小学校等給食調理業務委託事業費		2,786,514	2,791,525	▲ 5,011
○	中学校給食推進事業費		564,908	520,255	44,653

新規◎ 拡充○	事業名	事業概要	予算額（千円）		
			R8年度	R7年度	増減
◎	給食室空調設備整備事業費	暑い時期における給食室の環境改善に向けて、調理場や食品庫の空調整備のため、未設置校への調査を実施し、整備を進めます。	18,000	-	18,000
○	学校司書配置事業費 （会計年度任用職員等報酬等）	学校図書館の充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する学校司書を新たに中学校へ配置します。	101,279	90,487	10,792
○	地域交通安全員配置事業費 （会計年度任用職員等報酬等）	児童の登下校時の交通安全及び通学路の安全を確保するため、通学路上の交差点や踏切などの危険箇所地域交通安全員を配置し、交通整理等を実施します。	60,092	58,164	1,928
○	教職員募集採用事業	教員採用試験の実施や様々なPR活動を通じて、多様で優秀な教員の確保に努めます。	48,077	29,083	18,994
○	探究学習推進事業費	「かわさき教育プラン」における「かわさき探究2.0」の実施に伴い、ガイドブック作成や外部講師招聘等を行い、各学校の「探究的な学びの充実」を図ります。	4,420	-	4,420
○	学校歯科保健指導推進事業費	フッ化物洗口実施の事業規模を拡大するとともに、フッ化物支援員配置等の人的支援策を実施します。	3,729	2,959	770
◎	学校給食給付事業	小学校と特別支援学校における非喫食者（アレルギー等により給食を食べられない児童）について、国の補助に沿った対応を行います。	160,147	-	160,147
◎	南加瀬中学校校舎等増築事業費	近隣住宅開発等に伴う人口増加の影響及び35人学級の導入による教室不足に対応するため、校舎等の増築を行います。	19,766	-	19,766

令和7年度補正予算対応分

(千円)

学校施設整備において、令和7年度の国の補正予算を活用して、令和8年度予算を一部前倒しし、令和7年度3月補正予算と一体的に切れ目のない予算を編成

事業名	事業費	国庫支出金	市債	行革債	その他	一般財源	補正の内容
鷺沼小学校校舎等増築事業費	76,882	32,982	43,000		0	900	給食室分
登戸小学校校舎等増築事業費	67,670	26,735	40,000	0	0	935	給食室分
空調設備整備推進事業費	1,887,685	82,145	1,800,000	0	0	5,540	4校分 (東高津小、御幸小、東門前小、東生田小、生田中通級)
学校防犯対策施設整備事業費	159,773	80,676	76,000	0	0	3,097	19校分 (川中島中、臨港中、田島中、京町中、川崎中、日吉中、平間中、住吉中、井田中、今井中、中原中、東高津中、向丘中、枳形中、中野島中、生田中、南生田中、西生田中、長沢中)
既存教室冷房化事業費	5,041,225	699,650	4,289,000	0	0	52,575	36校分 ・R8施工29校 (大師小、川中島小、南加瀬小、大戸小、新城小、新作小、下作延小、久地小、野川小、下布田小、西生田小、真福寺小、岡上小、片平小、栗木台小、大師中、桜本中、田島中、京町中、渡田中、御幸中、井田中、中原中、西高津中、平中、枳形中、南菅中、生田中、西生田中) ・R7、8施工7校 (はるひ野小、土橋小、橘中、中野島中、柿生中、宮前平中、はるひ野中)
体育館等空調整備事業費	375,435	54,293	314,000	0	0	7,142	7校分 (浅田小、幸町小、小杉小、坂戸小、犬蔵中、菅中、長沢中)
学校施設長期保全計画推進事業費(Aグループ)	2,150,852	192,520	1,949,000	0	0	9,332	・校舎2校分(高津小、稲田小) ・校舎空調分3校(未長小、井田小、中野島小)
学校施設長期保全計画推進事業費(Bグループ)	920,498	128,616	789,000	0	0	2,882	校舎4校分 (殿町小、金程小、西菅小、麻生中)
学校施設長期保全計画推進事業費(Cグループ)	10,021,277	1,419,189	8,554,000	0	0	48,088	・校舎20校分 (新町小、東住吉小、川崎小、木月小、梶ヶ谷小、富士見台小、宮崎台小、犬蔵小、南野川小、宿河原小、生田小、有馬小、長沢小、千代ヶ丘小、南百合小、虹ヶ丘小、南大師中、有馬中、菅生中、南生田中) ・体育館7校分 (旭町小、日吉小、下作延小、栗木台小、御幸中、枳形中、野川中) ・EVI校(下作延小)
中央支援学校整備事業費	248,194	116,072	130,000	0	0	2,122	聾学校高等部、中央支援学校高等部分教室
計	20,949,491	2,832,878	17,984,000	0	0	132,613	

令和8年度 教育費予算（教育プラン Key Project及び施策）

令和8年度教育費当初予算	1,371億7,073万2千円
令和7年度補正予算対応分	209億4,949万1千円
合計	1,581億2,022万3千円

(千円)

Key Project		令和8年度予算	令和7年度補正
Project 1	探究的な学び	141,130	0
Project 2	特別支援教育 不登校対策	2,535,696	248,194
Project 3	教職員の人材確保 教職員の働き方・仕事の進め方改	3,994,449	0
Project 4	生涯学習 地域と学校の協働・連携	9,446,788	144,552

(千円)

施策		令和8年度予算	令和7年度補正
施策1	子ども主体の学びの推進	4,672,378	0
施策2	豊かな心とすこやかな体の育成	15,812,121	0
施策3	一人ひとりの教育的ニーズへの対応	4,021,572	248,194
施策4	学びを支える教育環境の充実	15,979,205	20,701,297
施策5	地域と学校の連携・協働	4,998,914	0
施策6	生涯学習の推進	5,340,646	0
その他		86,345,896	0

教育プラン事務事業別予算（※「K」=Key Project）

（千円）

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策Ⅰ 子ども主体の学びの推進					4,672,378	0
	探究的な学び推進事業	1	自分たちで考え、解決する学びに向けて、子どもたちが地域・社会への参画を通してさまざまな資質・能力を育めるように、これまでの本市の取組をさらに発展させた「かわさき探究2.0」を、すべての市立学校で実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆モデル校での「かわさき探究2.0」の実施（小学校3校・中学校2校）（R8年度、R9年度） ◆「かわさき探究2.0」の全校展開（R10年度） ◆教員向けガイドブックの配布（R9年度～） 	84,201	0
	キャリア在り方生き方教育推進事業		将来の社会的自立に必要な能力や態度を育む教育を全校でより効果的に実践するため、啓発資料の周知や研修により、「キャリア在り方生き方教育」の充実を図るとともに、学校と家庭や地域との連携を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆「キャリア在り方生き方ノート」及び「キャリア・パスポート」を活用した取組の推進（毎年度） 	7,556	0
	きめ細かな指導推進事業		「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、川崎市学習状況調査による学習状況の把握・分析を進めるとともに、指導形態や指導方法の研究実践、外部人材を活用した指導などを進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆川崎市学習状況調査の実施（毎年度小4～中3） ◆川崎市学習状況調査のCBT化（R9年度） ◆ALT（全小・中・高・特別支援学校）や理科支援員（全小学校）の配置（毎年度） 	1,017,339	0
	教育DX推進事業	3	児童生徒の理解度等に合わせた学習改善やエビデンスベースによる指導改善ができるよう、GIGA端末の更なる活用や学校における教育データの利活用を推進するとともに、児童生徒と教職員を支援するICT環境の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ダッシュボードの運用（毎年度） ◆端末及びネットワーク統合に向けた環境整備（R8年度～） ◆クラウド型校務支援システムの設計及び構築（R9年度～） 	3,508,960	0
	高校改革推進事業		少子化が進む中、生徒から選ばれる特色ある高校づくりに取り組むとともに、学校配置・規模の最適化に向けた検討を進めます。また、高等専門学校の設立も含め、高度な産業が集積する本市の地域特性を踏まえた次代の産業を担う人材を育成するための取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立高校改革等の推進に向けた新たな計画の策定（R8年度） 	54,322	0

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策2 豊かな心とすこやかな体の育成					15,812,121	0
	人権尊重・多文化共生教育推進事業		人権や多文化共生に関する正しい理解の促進を図るとともに、自他のよさを認め、互いに尊重し合う意識や態度の育成を図り、一人ひとりの違いが豊かさとして響き合う人間関係を築くことができるよう総合的に人権尊重教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権研修の実施（毎年度） ◆子どもの権利学習の実施（毎年度） ◆「多文化共生ふれあい事業」の実施（毎年度） 	8,716	0
	豊かな心を育む体験活動推進事業		子どもたちの豊かな感性を育むため、学校図書館の充実に向けた取組や、豊かな自然の中で、さまざまな体験活動等を行う「自然教室」、音楽のすばらしさを味わい、体験する「子どものためのオーケストラ鑑賞」などの体験活動等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校等への学校司書の全校配置（～R11年度） ◆学校ごとに複数の施設から選べる自然教室の実施（毎年度） 	684,470	0
	体力向上・部活動支援事業	3	児童生徒の運動習慣の定着や生活習慣の改善に向けて、体力や生活習慣等に関するデータを学校での指導や家庭での取組に活用するなど、意識醸成につながる取組等を進めます。また、地域との連携や外部人材の活用を図りながら、持続的に部活動が実施できるしくみづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ◆データを活用した学校体育活動等の実施、かわさきキラキラチャレンジの充実（R8年度～） ◆水泳授業での外部施設活用の拡充（～R11年度） ◆「かわさき部活動ガイドライン」を踏まえた取組の推進（R8年度～） 	264,377	0
	学校安全推進事業		子どもたちが危険を予測し、回避する能力を育成する安全教育の充実に向けて、実践的な交通安全・防災教育の実施等、学校での取組を支援するとともに、登下校時の見守り人材の配置、教職員による安全点検の実施など、子どもたちの安全な学校生活を守る取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆スクールガード・リーダー及び地域交通安全員の適切な配置（毎年度） ◆通学路における危険個所の改善の推進（毎年度） ◆各学校の実態に応じた防災教育の推進（毎年度） ◆学校施設の安全点検の実施（毎年度） 	145,070	0
	健康給食推進事業		児童生徒の健全な身体の発達に資するために、学校給食費を巡る国の動向等も踏まえ、安全・安心で栄養バランスのとれた美味しい学校給食の提供を行うとともに、小中9年間にわたる一貫した食育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ◆SDGs×健康給食の推進（毎年度） ◆給食提供日数の増（R8年度） 	14,155,918	0
	健康教育推進事業		すこやかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理の実施、学校医等の配置を行います。また、望ましい生活習慣の確立、心の健康保持、喫煙・飲酒・薬物乱用防止、歯科保健教育の推進等、健康教育の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆禁煙・飲酒・薬物乱用防止等教室の実施（毎年度） ◆スクールヘルスリーダーの派遣（毎年度） ◆小学校における歯科保健教育の推進（毎年度） 	553,570	0

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策3 一人ひとりの教育的ニーズへの対応					4,021,572	248,194
	特別支援教育推進事業	2	一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保や関係機関との連携による切れ目のない支援等を進めるとともに、支援が必要な児童生徒の増加等に対応した特別支援学校等の環境整備や医療的ケア拠点校としての取組を進め、本市におけるインクルーシブ教育システムの構築に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆中央支援学校高等部分教室の学校化及び田島支援学校桜校の本校化（R10年度） ◆市立学校における医療的ケア児の受入れ（毎年度） 	2,338,198	248,194
	不登校対策推進事業	2	多様な学びの機会や場を確保するため、「不登校対策の充実に向けた指針」に基づき、「（仮称）校内教育支援センター」や「ゆうゆう広場」、ICTを活用した学習支援など、校内・校外での取組を進め、不登校児童生徒及びその保護者への支援を総合的に推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆全小中学校への設置に向けた「（仮称）校内教育支援センター」の段階的整備（R8年度～） ◆保護者向けピアサポートの導入（R8年度） ◆オンライン学習システムを活用した伴走支援のモデル実施（R8年度、R9年度） 	170,220	0
	共生・共育推進事業		子どもたちの社会性や豊かな人間関係を育む「かわさき共生＊共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図ります。また、プログラムの「効果測定」の活用により、子どもへの理解を深め、児童生徒指導の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆プログラムの「効果測定」を活用した授業の実施（毎年度） 	2,247	0
	児童生徒支援・相談事業	2	不登校やいじめへの対応のため、スクールカウンセラー等を配置し、活用を図ります。また、子どもが置かれている環境の調整を行うスクールソーシャルワーカーを各区に配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆スクールカウンセラーによる専門的相談支援の実施（毎年度） ◆スクールソーシャルワーカーの要請訪問及び巡回派遣（毎年度） 	27,278	0
	帰国・外国人児童生徒等支援事業		外国につながるある児童生徒の自己実現を支えるため、一人ひとりのアイデンティティを大切にしながら、特別の教育課程による日本語指導等の充実を図るとともに、民間事業者のノウハウを活かした効率的かつ効果的な支援を総合的に推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本語指導初期支援員の配置（毎年度） ◆国際教室の設置及び巡回日本語指導の実施（毎年度） ◆通訳者の派遣、通訳機の配置（毎年度） 	178,440	0
	就学等支援事業		児童生徒の保護者や高校生・大学生の経済的な支援のため、奨助費や奨学金の支給等を行うとともに、義務教育の円滑な実施のため、適正な就学事務を行います。また、さまざまな事情で学べないまま学齢期を経過した人等に教育機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆就学援助費・特別支援教育就学奨励費の支給や、高校奨学金及び大学奨学金の実施（毎年度） ◆就学事務システムの「標準準拠システム」への移行に向けた取組（R8～11年度） ◆夜間学級の運営（毎年度） 	1,305,189	0

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策4 学びを支える教育環境の充実					15,979,205	20,701,297
	教職員の人材確保事業	3	学校の実情や課題等に対応した定数算定を行うとともに、教職員採用についての検討改善等により、創意と活力にあふれた多様で優秀な人材を確保します。また、学校における教育活動の充実を図るため、教職員の意欲を引き出す人事配置に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ニーズを捉えた採用説明会等の実施（毎年度） ◆実施方法（試験会場、選考区分等）の工夫・改善による効果的な採用選考の実施（毎年度） 	95,160	0
	教職員の働き方改革推進事業	3	「未来を育む学校サポートプログラム（教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針）」に基づき、業務の効率化や教職員の意識改革に向けた取組を推進するとともに、円滑な学校運営に資する支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校業務改善等実践校への支援（実践校 R7年度：23校→R11年度：103校） ◆Webサービスを活用した学校徴収金事務の効率的な執行（R8年度～） 	125,952	0
	学校施設長期保全計画推進事業		校舎及び体育館の改修により、老朽化対策、教育環境の質的向上、環境対策を計画的に実施し、より多くの学校の教育環境を早期かつ効率的に改善するとともに、長寿命化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆予防保全の実施（R8～R11年度：18校完了） ◆再生整備の実施（R8～R11年度：73校完了） ◆設備再生の実施（R11年度：モデル校2校完了） 	4,030,898	13,092,627
	学校施設環境改善・維持管理事業		教育環境の向上をめざし、バリアフリー化や普通教室・特別教室の空調設備の更新、体育館等への空調設備の整備等を進めるほか、民間活力の活用により学校施設の維持管理水準の向上を図ります。また、非構造部材の耐震化等、地域の避難所である学校の防災機能の強化に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆普通教室等の空調設備の更新（毎年度） ◆体育館等における空調設備の整備（R11年度：全校設置） ◆包括管理の全市展開（R9年度） ◆エレベータ全校設置（R9年度） 	6,659,899	7,464,118
	児童生徒数・学級数に基づく教育環境整備事業		児童生徒数の増加や中学校における35人学級の段階的な実施や地域ごとの学齢人口の変動等に的確に対応するため、各学校の児童生徒数の将来推計値に基づき、良好な教育環境の維持に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学級増に対応した計画的な施設整備（南加瀬中R12年度供用開始） ◆学校の小規模化に伴う考え方の整理（R8年度～） 	5,042,342	144,552
	教職員の人材育成事業		子どもたちと共に学び続ける教職員であるために、育成指標に基づき、教職員研修を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆教職員の資質・能力の向上をめざした研修の実施（毎年度） 	16,310	0
	教育研究団体補助事業		学校教育の充実発展のため、校長会や各教科の研究団体など、主体的に事業を行っている教育研究団体に補助金を交付することにより、研究活動等を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校・高等学校・特別支援学校の研究会の活動支援（毎年度） 	8,644	0

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策5 地域と学校の連携・協働					4,998,914	0
	地域とともにある学校づくり推進事業	4	「地域とともにある学校づくり」に向けて、コミュニティ・スクールの運営支援や、地域資源を活かした教育活動の実施など、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆全市立学校で学校運営協議会の実施（毎年度） ◆コミュニティ・スクール連絡会の実施（毎年度） ◆保護者・地域住民等が参画する学校評価の実施（毎年度） 	4,681,480	0
	地域の寺子屋事業	4	地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、すべての市立小中学校での実施をめざして、地域が主体となった放課後の学習支援と、土曜日等の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の寺子屋事業の実施（毎年度） ◆寺子屋先生養成講座の開催（毎年度） ◆地域の寺子屋推進フォーラムの開催（毎年度） 	152,034	0
	地域教育活動等の推進事業	1	地域教育コーディネーターの委嘱等により、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力と学校の教育活動をマッチングし、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちや意見表明を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域教育会議の実施（毎年度） ◆川崎市地域教育ネットワーク推進会議の開催（毎年度） ◆川崎市子ども会議の開催（毎年度） 	56,929	0
	朝の居場所づくり推進事業		保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所」づくりを進めます。	◆朝の居場所の開設（R8年度～全校設置に向け順次拡大）	22,264	0
	学校施設有効活用事業		特別教室等の開放拡大に向けた調整等を行うとともに、予約システムやスマートロック等を活用した利便性の向上、資産マネジメントの視点による新たな活用に向けた検討、施設開放の地域による持続可能な運営体制への移行支援など、学校施設の更なる有効活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別教室等の開放拡大（毎年度） ◆みんなの校庭プロジェクトの実施（毎年度） 	86,207	0

施策	事務事業	K	取組内容	主な取組	令和8年度 予算	令和7年度 補正
施策6 生涯学習の推進					5,340,646	0
	社会教育振興事業	4	市民館を地域における「生涯学習の拠点」として魅力的な場とするとともに、市民の自主的・主体的な学びを支援していくため、学級・講座やイベント等を実施・開催するとともに、学習と活動がつながる好循環を生み出し、学習や活動を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民館への指定管理者制度の導入（R8年度：多摩市民館、麻生市民館他） ◆市民館における学級・講座等の実施（毎年度） ◆出張型の講座等の実施などアウトリーチによる身近な場所での学びの場づくり（毎年度） 	39,242	0
	図書館運営事業	4	市民の読書要求に応え、市民の課題解決に資するため、多様な図書館資料や電子書籍を収集・保存・提供するとともに、市民生活の質の向上や課題の発見・解決に役立つ情報提供、新たな学びのきっかけにつながる取組など、市民ニーズに対応した読書支援の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆「かわさき電子図書館」による読書機会の提供（毎年度） ◆図書館への指定管理者制度の導入（R8年度：麻生図書館他） 	803,452	0
	社会教育施設的环境整備事業	4	市民の生涯学習の充実を図るため、生涯学習や地域活動の拠点として、資産マネジメントの視点を踏まえ、社会教育施設の整備や長寿命化の推進により利用環境の向上などの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆川崎市民館・労働会館の整備（R9年度供用開始） ◆幸市民館・図書館改修工事（R10年度供用開始） ◆新宮前市民館・図書館の整備（～R17年度予定） ◆ハケ岳少年自然の家青少年教育施設としての用途廃止、跡地の方向性の決定（～R10年度） 	3,257,341	0
	家庭教育支援事業		地域全体で家庭教育を支える環境づくりを進めるため、家庭の役割や子育ての重要性を学び、親同士の交流を促進する学級・講座等を実施するとともに、PTA等による家庭教育に関する学習活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民館等における家庭・地域教育学級等、家庭教育に関する学習機会の提供（毎年度） ◆PTAによる家庭教育学級への講師派遣と開催支援（毎年度） 	2,188	0
	文化財保存・活用事業	4	市民にとって文化財に親しむ機会が充実し、文化財に対する意識が高まるよう、「文化財保存活用地域計画」に基づき、史跡橘樹官衙遺跡群をはじめとする文化財の保存、活用を推進し、文化財を活かした魅力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆「史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」等に基づく保存管理・活用及び史跡整備の実施（毎年度） ◆指定・登録等文化財及び川崎市地域文化財の件数（R6年度：440件→R11年度：585件） 	513,239	0
	社会教育関係団体等への支援・連携事業		市内の生涯学習環境の充実のため、生涯学習財団や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、市民の生涯学習に資する事業や取組について、補助金の交付、協働での事業実施、助言等を行います。	◆社会教育関係団体の中間支援組織である生涯学習財団を通じた講座等の実施、市内の生涯学習に関する情報収集、及び市民への情報提供等（毎年度）	167,673	0
	博物館管理運営事業		日本民家園・青少年科学館の更なる魅力向上を図り、本市の魅力として発信するため、各施設の特性・専門性を活かした展示等、博物館活動の充実を図るとともに、生田緑地内の各施設や関係部署等と連携した取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本民家園の古民家保存・活用のための耐震工事、修復の継続的な実施（毎年度） ◆青少年科学館の自然・天文・科学の3分野に関する多様なニーズに対応したワークショップ等の実施（毎年度） 	557,511	0
その他	教職員・事務局職員の給料、学校運営に係る経費、その他事務局経費				86,345,896	0